

JAPIC 松林正之氏ミニ講演会

1. 日時 平成25年11月25日(火) 17:30~19:30 (全終了20:00)
2. 場所 田町CIC8F 講演会:KVS室、懇親会:談話室
3. 講師 松林正之氏 (社)日本プロジェクト産業協議会中部委員会主席研究員その他 (技術士)
4. 参加者 1+15=16人

- (1) K-BETS: 吉川、福島、米谷、渡辺、進藤、脇谷、宮地、阿部、岩田、篠崎
- (2) 竹もりの里: 鹿嶋、田島

- (3) ゲスト: 西出 (バンブーワークス主宰)、橋本要 (プロ写真家)、澤田訓男 (埼玉県のトマト農園)

5. ミニ講演会 (KVS 室)

- (1) 松林正之氏: 持参された資料を用いて講演および要約

①「放置竹林を活かす」「食」を軸とした循環型社会の構築 知多半島編 松林正之著

- ・バイブルともいえる76頁の鶯色の本(冊子)を参加者全員に配布してくれた。感謝
- ・まえおきも素晴らしい内容 ・要約版兼備

②竹炭の土壌改良材による農作物栽培事例紹介 松林正之著(抄録:篠崎)

- ・北川清生氏(トマト農家)が村林光明氏(三重県立農業大学校実習生)からバイオ炭の効果を知って実践
- ・バイオ炭 Biochar 施用の効果: 無化学肥料・減農薬、増収、給水不要、減暖房、糖度向上、200円/kg
- ・栽培例: 葉菜類、根菜類、豆類、イモ類
- ・効果: 毛細根の発達、寿命の延長、地温の上昇

③プラネット農園 プラネット農園のコンセプト ~自然栽培プラス~ 松林正之著

- ・自然林の土壌生態系を畑で再現し、その仕組みを利用して、さらに増幅させて野菜を栽培する。
- ・無肥料・無農薬栽培: 有機肥料も化学肥料も使わない。農薬も不要だから使わない。
- ・竹チップを撒布するだけ(これは土壌改良材なので、上記に反しない): 20m³/10a・年
- ・野菜を健康で美味しく育成: 硝酸態窒素が1/15~1/20、糖度が1.5~2.0倍
- ・菌根菌の活躍が鍵: 野菜に栄養と水を供給し、代わりにブドウ糖を貰う。(共生)
- ・菌糸が野菜の値の数十倍の深さに伸び、深い土地から水分を供給するとともに土を団粒化する。
- ・無農薬は虫の効果: 虫は過剰栄養で腐る葉を食べにくるが、硝酸態窒素が少なく腐らないので虫が来ない。



写真1 松林さんの講演開始: バイブル冊子の紹介



写真2 次に鹿嶋さんのスライドを披露

JAPIC 松林正之氏ミニ講演会



写真3 真剣なまなざしの松林さん



写真4 参加者も真剣



写真5 ゲストも真剣



写真6 ほぼ全員が写っている写真



写真7 竹炭製造コストの試算結果
ここまでは阿部さんの撮影写真
写真8以降は篠崎が撮影



写真8 澤田さんご提供のミニトマト（竹炭使用）
トマトの撮影が遅く、残り少なくなった皿
品種はピーチピンクとピーチブラック？

JAPIC 松林正之氏ミニ講演会

6. 懇親会（談話室にてミニ宴会）



写真9 松林さんと鹿嶋さん



写真10 橋本さんと澤田さん



写真11 サイエンスカフェにも参加の西出さん（左）



写真12 領収証を調達してくれた田島さん（右）



写真13 K-BETS の両首脳：吉川、福島



写真15 K-BETS の重鎮たち

<完>